



# 昆中通信

**校訓 拓く（英知・創造・愛郷）**  
 自主性に富み生き生きと生活する人間  
 ☆ 学力を身につけた生徒  
 ☆ 意志の強固な生徒  
 ☆ 体力の充実した生徒  
 ☆ 思いやりのある生徒

令和7年8月25日（月）No.5

釧路町立昆布森中学校

## 伝える力

校長 岩谷 拓 実

夏休み中、大きな事故等の連絡もなく、始業集会で元気な生徒の様子を見ることができ、大変うれしく思います。夏休み前に、「これは自分なりに頑張った」と言えることが1つでもあるように、続けることを伝えました。ご家庭での様子はいかがだったでしょうか。きっとそれぞれ充実した夏休みを過ごしたことと思い、保護者の皆様にお礼申し上げます。

さて、8月22日（金）の長期休業明けから冬休みまで、85回の登校日があります。この間、期末テスト・学力テスト・昆中祭・生徒会役員選挙・水産学習など、大きな取り組みが多数あります。1年間の総登校日数は200日ちょっとですので、1年の半分近くがこの期間に相当するため、じっくりと、そして確実に成長する大切な期間となります。

物事に取り組むときに大切なことは、その「ねらい（何のためにやるのか）」と「目標（どのレベルを目指すのか）」が大切です。それぞれが自分の目標に向け、最大限の努力を行い、充実感と達成感を味わえるよう学校では支援・指導を行っていきます。その際、ご家庭におかれましてはぜひ毎日の学校の様子や取り組み

内容について聞いてみてほしいと思います。これは、非常に多くの情報を簡単に得ることができる社会になったことで、「多くの情報から必要な情報を正しく選択すること」や、「情報の正確さを正しく判断すること」が必要になるとともに、「正しく（正確に）情報を伝える（発信する）」力が重要になってきていることに関係します。生徒にとって最も身近であり、理解している保護者の皆様との会話の中で、家庭とは異なる場所での取り組み・出来事を生徒が正確に伝えることは、上記の力を育む非常に効果的な機会であると考えています。学校においても、生徒の発信力を高める取り組みに力を入れております。ぜひ、多くの会話を通し、ご家庭・学校共に生徒の力を伸ばしていく取り組みを進めていきましょう。そして、生徒の皆さんは、学校で学んだ力を生かし、物事を正確に、わかりやすく伝えることに是非取り組んでください。

先日お知らせしたとおり、学校ではホームページをリニューアルし、今まで以上に積極的に情報発信を行うことで、教育活動の理解を深めていこうと取り組んでまいります。保護者の皆様のご理解とご協力を、今後ともよろしくお願いいたします。



## 9月 行事予定

日	曜	行 事 予 定	部活動	学年
1	月	朝会 1日防災学校・保小中合同避難訓練		①
2	火	部 団会議		
3	水	部 ①②合同高校説明会 13:05 遠矢中		
4	木	部 テスト範囲提示 二計測(男)		
5	金	部 ALT 二計測(女)		
6	土			
7	日			
8	月	部 知小バスなし		
9	火	町研研究部会(午前授業) 13:30 下校		
10	水	部 ALT ③学力テスト総合A		
11	木	部 生徒会活動 バド全日本Jr.(全国大会釧路)		
12	金	職員会議 バド全日本Jr.		
13	土	部 バド全日本Jr.		
14	日	部 バド全日本Jr.		
15	月	敬老の日 バド全日本Jr. MCD~17日		
16	火	放課後学習 校長会議		
17	水	前期期末テスト1 放課後学習		
18	木	部 前期期末テスト2		
19	金	部 生徒会活動		
20	土			
21	日			
22	月	部		
23	火	秋分の日		
24	水	部 ALT 教頭会議		
25	木	部 SC12:00		
26	金	部 英語検定 全道校長会研究大会		
27	土	部 神社祭(予定) 全道校長会研究大会		
28	日	部 神社祭(予定)		
29	月	部 朝会		
30	火	部 前期評定通知日(通知表配付)		

保護者の方もぜひご参加を

メディアコントロールデー

R7  
前期

# 学校生活アンケート結果

(回答数 生徒20 保護者13 職員12)

No.	評価項目 [生徒:私は 保護者:わが子は 職員:生徒は]	R6.7			R6.12			R7.7		
		生徒	保護者	職員	生徒	保護者	職員	生徒	保護者	職員
1	授業はわかる・できる・楽しいと感じている。	3.7	3.0	3.5	3.8	3.3	3.6	3.3	2.6	2.9
2	授業の内容を理解しようと努力している。							3.7	2.8	3.4
3	学校での小中学生の交流を通して、地域の仲間意識が高まっている。	3.2	3.2	3.2	3.1	3.3	2.9	3.5	2.8	3.2
4	メディアコントロールデーなどの取り組みで、基本的な生活リズムが整っている。	2.6	2.8	3.0	3.0	3.1	2.9	2.9	2.2	2.5
5	地域行事への参加など、社会や地域への貢献する意識が高まっている。	3.2	3.0	3.2	3.2	3.3	3.1	3.5	2.7	3.2
6	おたよりやホームページなどで、学校全体の様子を把握している。	3.8	3.5	3.8	3.7	3.7	3.8	2.7	2.3	2.8
7	学校生活は楽しいと感じている。	3.7	3.3	3.8	3.9	3.4	3.8	3.4	3.3	3.4
8	目標や意欲を持って授業に臨んでいる。	3.7	3.1	3.6	3.6	3.1	3.8	3.4	2.7	3.1
9	宿題を含め、計画的に家庭学習している。	3.2	3.0	3.3	3.6	3.1	3.4	2.7	2.9	2.5
10	仲間の頑張りを素直に認めている。							3.9	3.5	3.2
11	自分の頑張りを他の生徒から認められていると感じている。							3.2	3.0	3.2
12	いじめや嫌がらせ(加害・被害)もなく、他者に思いやりを持って生活している。	3.7	2.8	3.8	3.8	3.5	3.7	3.6	3.3	2.8
13	ルールやマナーを守り、正しい判断・行動ができる。	3.7	3.2	3.5	3.8	3.3	3.8	3.4	3.4	3.2
14	行事のねらいを理解して主体的に取り組んでいる。	3.7	3.2	3.6	3.8	3.5	3.6	3.3	3.3	3.4
15	教育相談や学習相談で、悩みや困りごとを解決できている。	3.6	2.9	3.5	3.6	3.4	3.8	3.3	3.0	3.4
16	自分の将来や進路に向けて努力している。	3.5	3.0	3.4	3.6	3.4	3.7	3.4	2.7	2.9
17	学校のできごとを家の人に伝えている。	3.4	3.3	3.6	3.5	3.5	3.7	3.4	2.7	2.9
18	家の人や地域の方が学校に来ると、いっそうがんばろうとする意識が高い。							2.9	2.9	3.3

平均 3.5 3.1 3.5 3.6 3.4 3.5 3.3 2.9 3.1

前回は +0.3p以上 -0.3p以下

7月に実施した学校生活アンケートの結果が出ました。前回から0.3p以上改善された項目を緑、0.3p以下下がった項目を赤で示しています。自由記述はありませんでした。

今年度から、主語を「学校・職員」から「私・我が子」と、生徒の姿での回答となったため、前回よりもやや厳しめの回答が多かったようです。

各項目について、①取組の成果・課題 ②評価から推測される要因 ③今後の改善策を職員が多角的に分析しているところです。

例えば、「自分は他者の頑張りを認めている(問10)のに、自分の頑張りはあんまり認められていない(問11)と感じる生徒が多い(実態)→「思いが本人に伝わっていない?」(要因)→「もっと伝え合う機会を増やそう」(改善方針)→「ではどうやって?」(具体的改善策)…と具体的な手段を考え実践することが大切と考えています。

お忙しい中、お答えいただいたみなさま、誠にありがとうございました。

## <昆中の○と△>

○3 小中学生の交流を通して、地域の仲間意識が高まっている

→小中連携や行事を通し、沿岸地域全体を考える生徒の育成に努めます

△1 授業はわかる・できる・楽しい

→授業の目標を明確にし、達成感を持つる授業を追求します

△6 おたよりやHP等で、学校全体の様子を把握している

→HPをリニューアルしました！  
おたよりは安心メール配信やHPで確認できるように準備中です

△15 教育相談や学習相談等で悩みや困りごとを解決できている

→Q-U調査等を活用しながら、生徒が話しやすい環境を整えます



## 少年の主張釧路総合振興局大会

当初は7月31日(木)実施予定の少年の主張釧路総合振興局大会が、前日の津波警報により急遽延期となり、8月5日(火)に釧路市立釧路小学校を会場に行われました。すでにお知らせの通り、釧路町代表として本校から3年T・Rさんが出場しました。幸か不幸か、練習する時間が増えましたので、当日は釧路町大会の時よりもさらに上手に発表しました。

自分の興味・関心に沿って、日常の社会科の学習や全国的に話題となっている釧路湿原のメガソーラー乱立などニュース等で自ら学んだことを織り交ぜながら、社会への広い視野で釧路や北海道の産業・未来の展望を熱く訴えました。

全道大会出場はなりませんでした。当日集まった多くの聴衆に、釧路の未来について深く考えさせるきっかけとなる問題提起となった大変優れた発表でした。

へき地校  
体験実習

## がんばれ未来の先生

夏休み明け早々の8月25日より5日間、北海道教育大学釧路校の学生2名が、体験実習を行います。教育の原点は、本校のような少人数の小さな学校にあるといわれています。都市部の大きな学校よりも、一人一人の生徒・保護者や地域と学校や職員とのつながりが強い昆布森地域です。教育の原点ともいえる、個に寄り添った教育活動を体験できるのではないかと期待しています。

大変な職業のイメージが定着している教職ですが、教員として子どもたちの成長のために学び続け、向上し続けようという熱い思いを持った若者を応援します。

昆布森中学校の最新情報はHPから

見た目も使い勝手も一新しました。こちらからブックマークをお願いします。

<https://konbumorijh.kushirocho.ed.jp/>

